島根恵

ヴァイオリン・リサイタル

『ヴァイオリン・

ヴィルトゥオーゾの世界』

2021年 1月 24日(日)

14:00 開演 (13:15 開場)

銀座 王子ホール OJI HALL (Ginza)



Piano 澤村桜子 Sakurako Sawamura

G. B. ヴィオッティ: ヴァイオリン協奏曲 第22番 イ短調 Giovanni Battista Viotti: Violin concert No.22 in A-minor (G97,WI-22)

P. バイヨ:アンダンテ 二短調 作品29
Pierre Baillot: Andante in D-minor Op.29

F. ダヴィッド:夜想曲 へ長調 作品28-1 Ferdinand David: Nocturne in F-major Op.28-1

F. メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64 Felix Mendelssohn: Violin concert in E-minor Op.64

> 全席自由 前売 一般 4000 円 / 学生 3000 円 当日 一般 4500 円 / 学生 3500 円

チケットお取り扱い

(株) インターミューズ・トーキョウ TEL 03-3475-6870

王子ホール チケットセンター

TEL 03-3567-9990

【チケット窓口】 簡単!クレジット or コンビニ決済は QR コードから! →



Yahoo! パスマーケット https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/010wmf11777qj.html

島根 恵 Megumi Shimane (ヴァイオリン)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学器楽科を卒業後、桐朋学園大学音楽学部研究生を修了。

1981 年 第 8 回ヴィエニャフスキ国際 ヴァイオリン・コンクールに入賞。 1987 年 第 2 回日本モーツァルト音楽 コンクール・ヴァイオリン部門優勝。

これまでにヴァイオリンを海野義雄、 久保陽子、兎東龍夫、江藤俊哉、広瀬 八朗の諸氏に、室内楽を黒沼俊夫氏に、 和声学を松村禎三氏に師事。2013 年 から J.S. バッハについてオランダの 名チェリスト、アンナー・ビルスマ氏 に師事。

後進の指導のほかに、世界的に音源の 少ない学習者向けの楽曲を CD に することを主な活動としている。

公益社団法人日本演奏連盟会員。

一般社団法人日本弦楽指導者協会 関東支部理事。

【これまでにリリースした CD】

- ドント:24 のエチュードとカプリス(ALCD-9159)(レコード芸術準推薦盤)
- ロード (ローデ): 24 のカプリス (ALCD-9091, 9092) (レコード芸術推薦盤)
- クロイツェル:42 の練習曲(ALCD-9144, 9145)
- カイザー:36の練習曲(ALCD-9132, 9133)
- エア・ヴァリエ(ALCD-9123)(レコード芸術準特選盤)
- J.S. バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタとパルティータ (ALCD-7059, 7060)
- モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第3・4・5番(ALCD-9111)

(レコード芸術準推薦盤)

澤村桜子 Sakurako Sawamura(ピアノ)

東京音楽大学卒業。卒業演奏会出演。卒業後、渡仏。パリ・エコール・ノルマル音楽 院にてピアノ教師ディプロム、演奏家ディプロム、室内楽高等ディプロムを取得。



スコラ・カントルム音楽院にてピアノ高等ディプロム を満場一致で取得。パリ 13 区モーリス・ラヴェル音楽院 にてピアノ伴奏科を満場一致で修了、DEM 取得。

フランス・パリ、ドイツ・カールスルーエの教会やホール コンサートに出演。フランス・シャランコンの夏期講習 にて合唱ピアニストを務める。

ペトロフピアノコンクール 4 位(日)、クロード・カーン ピアノ国際コンクール入賞(仏)、クレドール・コンクール ピアノ部門 1 位(仏)、ヨーロッパ・カールスルーエ 室内楽コンクール 1 位(独)。

ピアノを矢野裕子、佐藤由紀子、P. Zygmanowski、G. Pludermacher の各氏に、室内楽を C. De Buchy 氏、伴奏法を C. Collet 氏、歌曲伴奏を M. Parigot 氏に師事。



王子ホール MAP 東京都中央区銀座 4-7-5 JR 有楽町駅 地下鉄 銀座駅 銀座一丁目駅 東銀座駅

銀座口から 徒歩7分 A12出口から 徒歩1分 9番出口から 徒歩5分

徒歩2分

A2出口から



~ ごあいさつ ~



このたびは、多くの皆様からご要望をいただきまして、 4年ぶりにリサイタルを開催することになりました。

『ヴァイオリン・ヴィルトゥオーゾの世界』と題しましたとおり、ヴァイオリン音楽発展の歴史を感じていただけるプログラムを組みました。

(※「ヴィルトゥオーゾ」とは、一般に「超絶技巧演奏」や「超絶技巧演奏家」を指しますが、リサイタルに向けてこの言葉に込める意味は、「技巧を凝らして聴衆を最大限楽しませる、真心の結晶」だと考えています)

なかでも特にお聴きいただきたいのは、ヴァイオリン演奏の流派のひとつ「フランコ・ベルギー派」の創始者ともいわれる G. B. ヴィオッティが書いた《ヴァイオリン協奏曲第 22 番 イ短調》です。曲中のカデンツァは、ブラームスの友人で、この作品を愛し幾度も演奏したと伝わる J. ヨアヒムが書いたものを演奏いたします。しかし、現在出版されている楽譜には、ヴィオッティやヨアヒムが実際にコンサートで演奏したであろう装飾的な音符や音型のすべては書き込まれていないように私は思います。そのような部分に、島根恵オリジナルの装飾を盛り込んで、ヴァイオリン・ヴィルトゥオーゾ全盛期の香りを味わっていただきたいと思います。

P.バイヨはヴィオッティの弟子で、クロイツェルやローデ と共に、パリ国立音楽院の草創期に「ヴァイオリン演奏の 方法論」を書いた人物です。今回はヴァイオリン・ヴィルトゥオーゾを育てるための課題として出版したであろう ヴァイオリンとピアノのための小品に、島根恵オリジナルの装飾を加えての演奏を試みます。

F. ダヴィッドはライプツィヒに住むメンデルスゾーンの 友人で、メンデルスゾーンの協奏曲 ホ短調を初演した人物 です。メンデルスゾーンの協奏曲は「友人ダヴィッドの得意 とするヴィルトゥオーゾを活かしたのだな」と思わせる ところがあり、それが感じられるダヴィッド作曲のサロン コンサート用小品を選びました。

そして F. メンデルスゾーンの協奏曲 ホ短調は、自筆譜のアーティキュレーションを活かして、メンデルスゾーンが表したかった「思い」に近づこうと思います。

このプログラムでは、協奏曲とピアノ伴奏の曲が混在 しておりますが、時を超えて往時の貴族の邸宅の大広間 で開かれていたであろうコンサートにお出かけされる お気持ちでご来聴いただけましたら幸いです。

島根 恵

